ブータン王国

ブータン王立医科大学

Khesar Gyalpo University of Medical Sciences of Bhutan

●学部学生　720人　●大学院生　１２０人　●教職員　２９０人
ホームページ　https://www.kgumsb.edu.bt
交流協定締結年月日：2025年2月4日　　主管学部：医学部

<<Khesar Gyalpo University of Medical Sciences of Bhutan>>より抜粋

国際交流の特色

ブータン王立医科大学は、ブータン唯一の国立医科大学として2013年に設立され、質の高い医療教育と研究を推進している。近年では、香川大学医学部への視察を経て、学部医学部を設置し、医学学士プログラムを開設した。

香川大学との交流は、2020年にモバイル型分娩監視装置（iCTG）がブータンに供与されたことを契機に始まった。その後、JICA「ブータン医学教育の質の強化プロジェクト」の一環として、2022年にブータン王立医科大学幹部が香川大学で研修を受け、遠隔医療を活用した母子保健強化プロジェクトも開始された。2023年には香川大学関係者がブータンを訪問し、2024年にはブータンの医療関係者が香川大学で研修を受けた。さらに、JICAの長期研修制度を活用し、ブータン王立医科大学の教員が香川大学の博士課程で学ぶ等、遠隔医療や看護学など幅広い分野での協力が期待されている。また、チェンマイ大学を交えた三極交流も進行中で、2025年には合同シンポジウムが予定されるなど、アジアの医療ネットワーク拠点としての発展が見込まれる。

交流実績（令和６年度）

年度 / 受入・派遣	R6
学生の受入	0
学生の派遣	1
研究者・職員の受入	1
研究者・職員の派遣	3
オンライン交流参加者（本学）	0
オンライン交流参加者（相手機関）	0

ブータン王立医科大学幹部らによる
香川大学医学部視察時の様子

教員からの声

ブータンは、ヒマラヤ山脈の東側に位置し、チベット仏教を国教とする、人口約78万人の王国です。経済成長よりも国民の幸福や精神的豊かさを重視する「国民総幸福（Gross National Happiness, GNH）」という独自の理念で広く知られています。国民は温厚で非常に親切です。一方で、九州のおよそ90%に相当する国土の大部分は険しい山岳地帯であり、国民全体に医療を行き届かせるには、遠隔医療の導入とその拡充が不可欠です。こうした分野に強みを持つ香川大学との協働は、ブータンの状況改善に貢献するだけでなく、香川県における地域課題の解決にも資するものです。今後、さまざまな分野における交流の発展が期待されます。

医学部国際交流委員会委員・教授　和田健司